

平成22年度

# 町政執行方針



平成22年度第1回洞爺湖町議会定例会が、6月22日から3日間の日程で開かれました。真屋新町長が、これからの町政運営にあたり、執行方針を行いましたので、その概要を紹介いたします。なお全文は、町のホームページに掲載していますので、そちらもご覧ください。

## 公平・公正の町政

私の町政に臨む基本姿勢であります。地域の連携・協働・融和を基本として、町民との対話を深め、合意の形成に努め、偽りのない開かれた、公平・公正な町政の運営であります。前例や慣習にとらわれることなく、様々な分野の垣根を取り払い、ともに連携・協力していくことが重要であり、行政と町民の皆様との創意工夫のもとで、取り組むプロジェクトや地域づくりなど、新たな視点に立った主体的取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

## 主な施策について

### 財政健全化団体からの早期脱却

当面の最重要課題は、財政の健全化であります。町民の皆様のご理解をいただきながら、昨年度策定した財政健全化計画の着実な推進を図り、一刻も早い早期財政健全化団体からの脱却をめざし、計画的な財政運営に努めてまいります。

### 観光資源を活用した温泉街の再興と雇用の促進

一昨年の北海道洞爺湖サミット直後のリーマンショックに端を発した経済不況は、引き続き

地方では回復の兆し見えず、消費の後退や雇用不安を生み出し、地域経済は冷え切っております。

とりわけ、我が町の主産業である観光においては、訪れる観光客が減少し続けており、この対策は急務であり、関係団体・機関等と連携し、活性化に取り組んでまいります。

また、雇用対策の強化を図り、企業誘致や定任対策にも力を入れていかなければならないと考えております。

### 町内の均衡ある発展へ

合併し洞爺湖町が誕生して4年が経過しました。虹田地区と洞爺地区の垣根が取り払われ、

さらに町内融和が進んでおりますことは、まことに喜ばしいかぎりでありますが、両地区の均衡ある発展についても引き続き努めてまいります。

### 洞爺湖温泉誕生から100年

今年、2000年有珠山噴火から10年、また洞爺湖温泉誕生100年の節目の年であります。改めて防災意識の啓蒙を図るとともに、地域の様々な取り組みや事業展開が、洞爺湖町の観光振興、地域振興につながります。よつ心から期待するとともに、観光客や修学旅行への誘致対策などにも力をそそいでいきたいと考えております。